

令和4年第2回新車部会運営委員会議事録

日時 令和4年6月24日(金)

場所 熊本県自動車会館3階特別会議室

出席者 西 治三朗担当理事

齊藤 賢司運営委員長 松本 圭介副運営委員長

若杉 浩治副運営委員長 吉村 仁志委員 古閑 宰委員 山口 一紀委員

松田 将史委員 林田 圭二委員

佐藤 直樹係長(熊日広告社)

事務局 松本 伸二専務理事 羽田野 晃央事務局長

○西担当理事挨拶

おはようございます。本日の議題は、主に委員の改選についてとなります。この委員会でご審議頂き、後の部会で承認を頂ければと思います。

コロナ関連では、感染の下げ止まり感がありますが、まだ、家族からの感染報告もゼロではありませんので、これからもしっかりと感染予防を徹底していきましょう。

今現在の新車の受注残についてお話しますと、トヨタ自動車の場合グローバルでのキャリアオーバーが200万台、通年で約1000万台の販売なので、そのうちの約2割に当たります。

国内のキャリアオーバーは70万台で、年間150万台の販売の半分弱を占める割合となっています。その要因は半導体で、日本はHV車が多いのと安心・安全等の装備など、半導体を使う比率が高いという事が理由です。納期に関しても、平均で半年程かかる長納期となっています。他のメーカーでも同じ状況かと思われそうですが、お客様へのフォローをしっかりと行い、生産が正常化になるまで、互いに頑張っていきましょう。よろしくお願いいたします。

○齊藤運営委員長記事進行

議題1、役員改選について

事務局より資料に基づき説明。候補者の推薦案が提示された。

【役員】

運営委員長(部会長) ……熊本トヨペット(株) 齊藤 賢司取締役副社長 (再任)

副運営委員長(副部会長)……熊本三菱自動車販売(株) 林田 圭二執行役員統括部長 (新任)

副運営委員長(副部会長)……熊本日産自動車(株) 松田 将史新車販売部長 (新任)

【運営委員】

昨年改選ルールに則り、各グループから運営委員の候補者を選出し推薦された。

Aグループ

熊本トヨペット(株) …… 齊藤 賢司取締役副社長 (運営委員長)(再任)

ネットトヨタ熊本(株) …… 松野 栄司車両部長 (新任)

ユナイテッドトヨタ熊本(株) …… 吉村 仁志取締役部長 (担当理事枠)

Bグループ

熊本日産自動車(株)・・・松田 将史新車販売部長（副運営委員長）（新任）
（株）南九州マツダ・・・布田 真之事業部長（新任）

Cグループ

熊本三菱自動車販売(株)・・・林田 圭二執行役員統括部長（副運営委員長）（新任）
熊本スバル自動車(株)・・・末永 一徳新車副部長（新任）

輸入車グループ

（株）シュテルン熊本・・・狩野 宏忠課長（新任）

大型グループ

三菱ふそうトラック・バス(株)・・・小田 利幸副支店長（新任）

上記、事務局から改選の案を議場に諮ったところ、全員意義なく了承された。

議題2、新車合同キャンペーンについて

熊日広告社佐藤様よりキャンペーンについての説明がなされた。

前回審議頂いた経緯を説明

秋に新車中古車合同でのキャンペーンを9デイズで実施し、その締めとしてグランメッセで熊本県下新車ディーラー中古車フェスティバルを実施してはどうかという意見

日程としては、10月15日(土)から9デイズを開催。10月22日(土)23日(日)で中古車フェスティバルを開催という提案がなされた。

新車キャンペーンの期間では「カーボンニュートラル」の訴求をメインに取り組みたい。

次回までに、今回の意見を踏まえ企画書を提出してもらうことで終了。

「意見」

- ・前回の中古車フェスティバルでの玉揃えに関して、各社どうやって商品車をそろえられたか等、質問が出された。
 - ・「サポカー体験」を絡めた開催を検討してはどうか。
 - ・新中合同でキャンペーンを実施し、中古車フェスティバルとは切り離す。という意見もあった。
- 次回、日程及び「人と環境にやさしい」をテーマに企画案を提出する事とした。

議題3、その他 各指標について

事務局から資料に基づき説明がなされた。

- ① 新車新規OSS登録台数一覧表
- ② OSS継続検査一覧表
- ③ 新車登録下旬比率一覧表
- ④ 新車登録月末4日間比率一覧表
- ⑤ 販社別登録書類完備率
- ⑥ 新車新規持ち込み検査台数
- ⑦ 検査ライン代行依頼件
- ⑧ 新車諸費用の事前徴収率
- ⑨ 新規付保率調査一覧表

尚、前回の委員会で持越し案件となっていた新規付保率の定義について意見が交わされた。事務局から販社ごとの実務担当者からの回答一覧の報告と保険会社からの聞き取り調査の報告があり、次のように定義を定めた。

○「新規付保率の定義」

純粋な新規保険(新規と名の付くもの)獲得件数
新車登録台数(直販+業販、普通車、軽自動車含む)

新車登録台数(直販業販)は自販連の資料から抽出し、各販社からの報告は新規保険の件数のみとすることで承認された。

次回開催

令和4年8月4日(木)15時00分から委員会のみで開催。

以上で、第2回新車部会運営委員会を終了した。

令和4年第2回新車部会

日時 令和4年6月24日(金) 12時20分～

場所 熊本県自動車会館 4階 第1～3会議室

出席者

西 治三朗担当理事

齊藤 賢司部会長 松本 圭介副部会長

若杉 浩治副部会長 吉村 仁志委員 古閑 宰委員 山口 一紀委員

松田 将史委員 林田 圭二委員

松野 栄司会員 竹尾 博幸会員 布田 真之会員 末永 一徳会員 坂本 孝会員

米村 正成会員 弓削 貴裕会員 杉本 英明会員 小田 利幸会員 森 秀昭会員

塚部 禎尚会員代理 塚野 洋会員代理

与座 公弘事務所長(JAF) 佐藤 直樹係長(熊日広告社)

事務局 松本 伸二専務理事 羽田野 晃央事務局長

○西 担当理事挨拶

コロナ感染拡大防止に、各社ご苦勞されていることと思います。半導体問題では、各社、各メーカー共に長納期が危懼されているところかと思ひます。トヨタ自動車の例でお話しますと、全世界で200万台の受注残があり、年間1000万台の販売の中の約20%程になります。一方、国内では70万台のキャリーオーバーで、年間150万台の販売からすると50%弱のキャリーオーバーとなります。要因としては、日本が一番半導体を使用するHVや先進安全装置搭載の車が多いことによるものです。他メーカーも同じような状況ではあると思ひますが、正常化に向け踏ん張りどころです。よろしくお願ひします。

○齊藤部会長挨拶 議事進行

議題1、役員改選について

事務局から先程の運営委員会で承認された役員並びに運営委員の改選候補者について説明がなされた。候補者は次のとおり。

【役員】

運営委員長(部会長) ……熊本トヨペット(株) 齊藤 賢司取締役副社長 (再任)

副運営委員長(副部会長) ……熊本三菱自動車販売(株) 林田 圭二執行役員統括部長 (新任)

副運営委員長(副部会長) ……熊本日産自動車(株) 松田 将史新車販売部長 (新任)

【運営委員】

昨年の改選ルールに則り、各グループから運営委員の候補者を選出

Aグループ

熊本トヨペット(株) ……齊藤 賢司取締役副社長 (運営委員長)

ネットトヨタ熊本(株) ……松野 栄司車両部長 (新任)

ユナイテッドトヨタ熊本(株) ……吉村 仁志取締役部長 (担当理事枠)

Bグループ

- 熊本日産自動車(株) ……松田 将史新車販売部長 (副運営委員長) (新任)
- (株)南九州マツダ ……布田 真之事業部長 (新任)

Cグループ

- 熊本三菱自動車販売(株)……林田 圭二執行役員統括部長 (副運営委員長) (新任)
- 熊本スバル自動車(株) ……末永 一徳新車副部長 (新任)

輸入車グループ

- (株)シュテルン熊本 ……狩野 宏忠課長 (新任)

大型グループ

- 三菱ふそうトラック・バス(株)……小田 利幸副支店長 (新任)

事務局から、上記改選案を議場に諮ったところ、全員意義なく承認された。

その後、新役員3名からそれぞれ挨拶があった。

議題2、新車合同キャンペーンについて

熊日広告社 佐藤様よりキャンペーンについて説明がなされた。

前回審議頂いた経緯を報告

新車中古車合同でのキャンペーンを9デイズで実施し、最後の週末にグランメッセにて熊本県下新車ディーラー中古車フェスティバルを実施する、という意見。委員会において、半導体不足で新車が納車できない状況で、下取車の玉不足が発生するなど厳しい状況ではあるが、新車部会としてはやっていく方向で検討。これまでは、震災や人吉の復興支援、コロナ感染医療従事者支援などの形をとってきたが、今後は、昨年からのカーボンニュートラルの治験を活かし、「CO2削減」を絡めたものが出来ないか検討している。加えて、サポカー限定免許の施行に伴い、環境と人にやさしいというテーマにて、今後検討を加え展開していきたい。案として、10月15日(土)から9デイズを開催し、10月22日(土)23日(日)で中古車フェスティバルを開催するという案の報告があった。委員会にて、もう少し検討し形になってきた時点で部会に報告。今回の意見を踏まえて企画書を提出する事と報告された。

議題3、その他 各指標について

事務局から資料に基づき説明がなされた。

- ① 新車新規OSS登録台数一覧表
- ② OSS継続検査一覧表
- ③ 新車登録下旬比率一覧表
- ④ 新車登録月末4日間比率一覧表
- ⑤ 販社別登録書類完備率
- ⑥ 新車新規持ち込み検査台数
- ⑦ 検査ライン代行依頼件数
- ⑧ 新車諸費用の事前徴収率
- ⑨ 新規付保率調査一覧表

尚、前回の委員会で持越し案件となっていた新規付保率の定義について報告があった。
事務局から、運営委員会での審議の内容について報告があり、下記の内容で定義する事が承認された。

純粋な新規保険(新規と名の付くもの)
新車登録台数(直販+業販、軽自動車含む)

新車登録台数に関しては自販連の資料から抽出し、今後、各販社からの報告は新規保険の件数のみとする事と決まった。

(一社)日本自動車連盟熊本支部 与座事務所長様からの報告

※詳細、別冊資料にて

次回開催は委員会 令和4年8月4日(木)15時00分 熊本県自動車会館3F 特別会議室

以上で、第2回新車部会は終了した。